

障害児入所施設における小規模ケア化、 地域分散化推進の課題を考える

～より家庭的な環境で子どもを育てるために～

児童福祉法の改正により障害種別の施設体系から一元化された障害児入所施設等が4月1日からスタートします。子どもを取り巻く育ちの環境が悪化するなかで虐待等の社会的養護を要する子どもが増えています。家庭で養育が困難な子どもの受け皿として障害児入所施設は、より家庭的な環境をめざし、親に代わって子どもの育ちに向けてさまざまな実践を積み上げてきました。日本知的障害者福祉協会児童施設部会では、平成 10 年 5 月、『精神薄弱児施設のあり方に関する研究報告書』において小規模化、地域密着化、多機能化、ネットワーク化、個性化を今後の施設の方向性として提言しました。このたび、改めて小規模ケア化、地域分散化の現状の課題についてアンケート調査、訪問調査を行い、その実態を検証しました。これからの児童施設のあり方に関して多くの方々と意見交換したいと思います。

多くの皆さまの積極的なご参加をお待ちしています。

日 時 2012 年 3 月 7 日（水） 12：30～17：00

会 場 ホテル JAL シティ田町（B1F）

（〒108-0023 東京都港区芝浦 3-16-18 TEL 03-5444-0202）

主 催 日本知的障害者福祉協会

参加費 無 料

内 容 12：30 開会挨拶 会 長 中原 強（事業責任者）

研究趣旨説明 副会長 田中 齋（研究責任者）

12：45 調査報告 米川 晃（広島県・柏学園）

松下直弘（愛知県・岩崎学園）

13：25 休 憩

13：40 シンポジウム

テーマ「より家庭的な環境で子どもを育てるために」

シンポジスト 佐藤真名（岩手県・奥中山学園）

山崎陽司（静岡県・三方原スクエア）

湯浅民子（北海道・ひまわり学園）

助 言 者 大塚 晃（上智大学）

コーディネーター 水流純大（鹿児島県・あさひヶ丘学園）

16：45 閉会挨拶

定 員 200 名（定員になり次第×切らせていただきます。）